

同徳女子大学大学院 博士課程 張栄花

生涯教育¹としての日本語教育の現状分析 - ソウル市内の老人福祉館を中心として -

要 旨

本研究は韓国の日本語学習者集団の中で、未だ研究対象として認知されていない高齢者²を対象にした日本語教育の現状分析及び日本語教育の問題点を把握した後、高齢学習者のための日本語教育の改善案を模索することを目的としている。

研究方法としては、ソウル市内の 3ヶ所の福祉館³の日本語クラスを初級と中級とに分けて参観授業をした。そしてその3つの福祉館の高齢日本語学習者と日本語教師を対象として、予備調査を実施し、その結果をもとに教師(4名)と学習者(90名)を対象にインタビュー調査を実施した。そして日本語教育の現状の分析は電話調査で行い、また各福祉館のホームページも参照した。

その結果、高齢者向けの日本語教育が持つ様々な問題点が明らかになり、韓国の高齢学習者たちにとって価値ある日本語教育を実施するためには、彼らの学習ニーズを満たすことができるような教育環境と教育プログラムが必要であることが分かった。

¹生涯教育：教育の最上の概念で人間の一生、すべての生活にかけて成り立つ教育を言う。生涯教育は対象別で児童教育、青少年教育、成人教育、年寄り教育などで分類されているが、本研究では高齢者を対象にした教育を意味する。

² 高齢者：本研究では65歳以上の者を高齢者とする。

³福祉館：本研究では韓国の老人福祉館を「福祉館」と表記する。日本では '老人' という単語の語感が良くないので、'老人福祉館'の老人を除いた福祉館という用語を使う。